

# 同志社大学

## 2015年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016年4月28日提出

所 属	職 名	氏 名
政策	教授	阿部茂行
研 究 題 目	輸出志向工業化とアジアの経済発展～空洞化の実証研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>2011年度から始動した「輸出志向工業化とアジアの経済発展～空洞化の実証研究」について、2015年度内に達成した成果は次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. アジアの経済発展における輸出志向工業化がどれほどの役割を果たしたのかについてのデータの収集、分析。</li><li>2. 空洞化の事例の収集。主に日本経済新聞に掲載された最近5年ほどの記事の精査。</li><li>3. サプライチェーンについて OECD の貿易データを解析、アジアにおいてももっともサプライチェーンが発達していることを実証。</li><li>4. サプライチェーンの動態を UNCOMTRADE データを使い、計量分析などが研究成果の主なものである。</li></ol> <p>研究成果は、二つの国際学会、Western Economic Association International Convention in Honolulu とロンドン大学 SOAS での SOAS Workshop on 'Economic Stagnation and Deflation: Challenges for Japan in Comparative Perspective'において研究成果を発表、参加者と意義深い意見交換が出来た。またハワイの East West Center での Megaregionalism に関する Workshop でも研究成果を発表、発表した論文は現在 Keith Maskus 編 <i>Megaregionalism – Innovation and Trade within Global Networks</i> (World Scientific Studies in International Economics/Imperial College Press) の1章として2016年11月に出版の予定である。</p>	